

往年のヒットソングを披露

文化ホール事業「幸せは ほら そこに…」コンサート

2月23日、文化ホール事業「幸せは ほら そこに…」コンサートが町文化ホールで行われ、大津町在住の元H₂Oの中沢けんじさんとダ・カーポの榎原広子さんと榎原まさとしさんが出演しました。昨年11月に引き続き3回目となる今回も会場にはたくさんの人が訪れ、懐かしの名曲に多くの拍手が起こりました。



「想い出がいっぱい」や「結婚するって本当ですか」など数々の名曲を披露しました

歌謡祭で熊本朝日放送賞を受賞

平成25年度 第29回熊本県身体障がい者歌謡祭

昨年12月5日、「平成25年度 第29回熊本県身体障がい者歌謡祭」が火の君文化センター（熊本市）で行われ、大津町の山下幸さん（大津）が熊本朝日放送賞を受賞しました。これは、県身体障害者福祉団体連合会が主催するもので、県内の身体障害者団体などでの予選を勝ち抜いた参加者たちが熱戦を繰り広げました。



当日は町身体障害者福祉会の皆さんも応援に駆けつけ、山下さんに熱いエールを送りました

熊本学園大学と大津町のつながりを

包括協定調印式

3月6日、熊本学園大学と大津町が包括協定を締結しました。この協定は、互いに連携をとり、産業発展、住民福祉、人材育成などのさまざまな分野においてお互いに協力し合うものです。熊本学園大学の岡本恵也学長と家入町長はまちづくりへの期待を話し合い、これからの同大学と町の発展を祈念して握手を交わしました。



笑顔で握手を交わす家入町長と岡本学長

地下水かん養に貢献

東京エレクトロン九州(株)が植樹

3月15日、西原村の原野で東京エレクトロン九州(株)による植樹が行われました。参加者たちはクヌギやサクラなどの広葉樹の苗木約1,000本を一本一本丁寧に植え付け、青空の下、心地いい汗をかいていました。町は、地下水かん養などを目的に協力企業などと協定を結び、広葉樹の森づくりに取り組んでおり、同社とは平成17年に協定を結んでいます。



今後も平成32年度までに6,000本の植樹が行われる予定です

【問い合わせ】 役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)3122

菊池東部水平社創立90周年記念式典が開催されました！

2月22日、人権啓発福祉センターで約100人出席のもと開催されました。



まずオープニング「げんこつ太鼓」の心に響く力強い演奏で式典に花を添えた後、熊本県人権教育研究協議会顧問の上原仁朗さんの「私と解放運動」と題した記念講演がありました。第2部では、部落解放同盟大津支部よりこれまでの解放運動の歩み部落差別の完全解消の実現の日まで！が紹介され、解放子ども会より学習会の年間を通しての成果発表がありました。「菊池東部水平社」とは！

現在の同支部の前身であり、全国水平社が結成された翌年の1923（大正12）年9月24日、町内にあった寶座（大津町室）において、経済的・社会的に厳しい差別のなか「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と宣言され、県内はもとより関西方面から参集した500人規模の結成大会であったと記されています。

人権のまちづくりを目指して町も、同支部や地域の皆さんと連携、協働しながら、お互いが人権を尊重する心豊かな住みよいまちとなるよう、さらに町民一人一人の人権意識を高め、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題解決のために、人権教育をこれからも進めていきたいと考えています。

人権のまちづくり懇談会「大津小PTA教育講演会」報告

「命・平和・教育」の大切さについて考える講演会が2月28日、大津小学校体育館で開催されました。まず、熊本県ユニセフ協会から活動についての紹介後、「生きることとは学ぶこと」と題し、NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長のカンベンガ・マリールイズさん（ルワンダ出身）を講師に行われました。マリールイズさんは、福島県在住で、ルワンダ内戦における大量殺戮、東日本大震災での被災という苦難を乗り越え、現在全国各地で講演しています。

出会いに感謝！「私が日本語を短期間で覚えられたのは、ホームステイ先の外国語の話せない福島のおばあちゃんのおかげです」教室にはたくさんの夢がある！子どもは教育が大事。学んだことは（大人になってから）必ず助けてくれる。それぞれの夢実現に向けて頑張ってください！

一番伝えたいこと！「普段どおり、当たり前前に学校に来て勉強ができること、命の尊さ、教育の大切さについて、いま一度考えてみてください」時折ユーモアを交え、丁寧な日本語で優しく語りかける姿に、児童ら

【お知らせ】人権啓発福祉センターから役場庁舎内へ人権推進課が移転します！

4月から人権啓発福祉センター（隣保館）内であった人権推進課が役場庁舎内に移転します。

これは、さまざまな住民サービス向上などを検証した結果、町の将来ビジョンなど多様化する住民ニーズへの対応に向け、全ての役場組織が見直される一環として今回実施されるものです。これにより、男女共同参画推進係が統合、新しく人権推進課としてさらに町全体の人権啓発推進と男女共同参画事業の充実が図られ、その効果が期待できます。これからも引き続き、人権啓発福祉センターや、南杉水人権のまちづくり協議会とも連携し取り組みながら、人権意識向上のため活動を続けていきます。



は真剣な表情で聞き入っていました。講演後、館内は温かい感謝の拍手がしばらく鳴り響いていました。